



2021年11月25日

各 位

会 社 名 西部ガスホールディングス株式会社  
(コード番号 9536 東証第一部、福証)  
代表者名 代表取締役社長 道永幸典  
問合せ先 執行役員広報部長 川島英広  
電話番号 092-633-2237

## 「西部ガスグループビジョン2030」の策定について

西部ガスグループは、このたび、「西部ガスグループビジョン2030」を策定しました。

当社グループを取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、エネルギーの自由化、デジタル技術の進展など大きく変化しています。更に、自然災害の増加や2050年のカーボンニュートラルに向けた潮流により、さまざまな場面で持続可能な社会を目指す動きが広がっています。これらの環境変化をチャンスと捉え、来るべき社会におけるありたい姿を描き、その実現に向けた戦略を「西部ガスグループビジョン2030」として取りまとめました。

### ■2030年のありたい姿

『人を、街を、社会をつなぎ、未来をつくる。』  
西部ガスグループは「つながり」をチカラに  
未来を変える価値の創造に挑み  
持続可能で豊かな社会の実現をリードします。

### ■ありたい姿に向けた戦略

#### 【戦略1】地域のカーボンニュートラルの実現に率先して取り組みます

クリーンで効率的なエネルギー利用を軸に低・脱炭素化の取り組みを加速させます。また、お客さま、行政、学術機関等との積極的な連携を図り、地域のカーボンニュートラルの実現に取り組みます。

#### 【戦略2】サステナブルな暮らしや地域社会を支える価値を共創します

さまざまなステークホルダーと連携しながら、安心して住み続けられるまちづくり

や、多様な暮らしのサービス創出などに取り組み、サステナブルな暮らしや地域社会を支えます。

### **【戦略3】 未来志向で価値創造の基盤を強化します**

未来を変える価値の創造に向けて、人財の育成や新しいつながりの創出に取り組みます。戦略を支える財務基盤の強化とサステナビリティ経営を推進します。

当社グループは、2030年に創立100周年を迎えます。その先の未来も見据え、これからも、グループのさまざまな事業活動を通じて「つながり」と信頼を地道に積み重ね、地域社会の発展に貢献するとともにお客さまから選ばれ続ける企業グループを目指します。

\* 「西部ガスグループビジョン2030」の詳細につきましては、添付資料をご参照ください

以上



# 目次

1.はじめに .....	1
2.グループ事業の広がり .....	2
3.思い描く未来の社会 .....	3
4.果たすべき役割 .....	4
5.ありたい姿 .....	5
6.ありたい姿に向けた戦略 .....	6
7.経営指標(2030年) .....	10



# はじめに

2021年4月、西部ガスグループは新たなグループ事業体制へ移行し、変革への第一歩を踏み出しました。これはグループ経営体制の強化と地域に根差した事業体制構築を目的とするものです。

私たちを取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、エネルギーの自由化、デジタル技術の進展など大きく変化しています。更に、自然災害の増加や2050年のカーボンニュートラルに向けた潮流により、様々な場面で持続可能な社会を目指す動きが広がっています。

これまでも西部ガスグループは、環境変化を捉え、自らも変わり続けることでお客さまに新たな価値を提供し続けてきました。例えば、石炭を原料として始まった都市ガス事業は、石油、天然ガスと原料を変えることでその時代の環境問題を克服し、お客さまの暮らしや産業を支え続けてきました。そして、これからはグループ一丸となって、カーボンニュートラルの実現にチャレンジしていきます。

私たちはこれらの環境変化をチャンスと捉え、来るべき社会におけるありたい姿を描き、その実現に向けた戦略を「西部ガスグループビジョン2030」として取りまとめました。

西部ガスグループは、2030年に創立100周年を迎えます。

その先の未来も見据え、グループの様々な事業活動を通じて「つながり」と信頼を地道に積み重ね、地域社会の発展に貢献するとともに皆さまから選ばれ続ける企業グループを目指します。



西部ガスホールディングス株式会社  
代表取締役社長

道永幸典

# グループ事業の広がり

西部ガスグループは、経営理念に掲げる「地域貢献」の想いに基づき、ガスエネルギー事業を軸に暮らしや社会に関わる多様な領域へと事業の幅を広げてきました。「地域貢献」の想いは普遍的なものとして「西部ガスグループビジョン2030」の核となっています。

## ガスエネルギー事業



## 食関連その他事業



## 電力その他エネルギー事業



## 不動産事業





環境・社会の持続可能性を意識した行動や取り組みが社会全体で広がり、個人、企業、行政などが共にサステナブルな社会を目指しています。

## 共創型のサステナビリティ先進社会へ

2050年

カーボンニュートラル・  
循環型の社会

地域・コミュニティに  
活力ある社会

多様な暮らし方が  
広がる社会

産業バリュー  
チェーン全体で  
低炭素・脱炭素が  
進展している

天然ガスシフトや  
再生可能  
エネルギーの利用が  
進んでいる

楽しくて安心な  
毎日を支える  
地域コミュニティの  
機能が充実  
している

サステナブルな  
暮らしが当たり前  
になっている

一人ひとりの  
働き方に自由な  
選択肢が  
広がっている

2030年

家庭から  
地域社会まで  
エネルギーと暮らしの  
レジリエンスが  
高まっている

独自の  
サステナビリティを  
標榜する等、  
先進的な自治体が  
各地に出現  
している

魅力あふれる  
独自の産業と文化が  
発達している

国際競争力のある  
インキュベーションと  
多様な協働の拠点が  
点在している

ライフステージに  
寄り添う医療・  
福祉サービスが  
進化している

思い描く社会の実現に向けて、社会の期待に応えながらその役割を果たしていきます。

## 《思い描く社会》

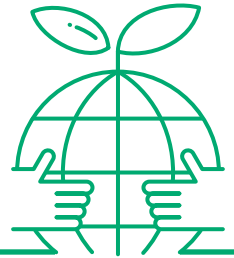
共創型のサステナビリティ先進社会

## 《西部ガスグループが果たすべき役割》

### カーボンニュートラル・ 循環型の社会

#### 地球環境へ

- 気候変動というグローバルな課題の解決に向けて、カーボンニュートラルへの挑戦を通じ、エネルギー事業者としての責任を果たしていきます。
- 資源循環などの環境課題にも対応していきます。



### 地域・コミュニティに 活力ある社会

#### 九州の社会・産業へ

- 地域からの信頼とグループの多様な事業・人財を活かして、九州の各地域の特色を活かした持続可能なまちづくりを支援し、地域と共に発展していきます。
- 住民、企業、スタートアップ、行政、大学等をつなぐイノベーションのハブとなります。
- 九州で培った経験、技術、ノウハウを基に事業やサービスを域外へも展開し、その成果を九州に還元します。



### 多様な暮らし方が 広がる社会

#### 九州に暮らす人々へ

- 地域に暮らす人々にとって身近な存在として寄り添い、多様なニーズを汲み取り、一人ひとりの理想とするライフスタイルの実現を支えます。
- エネルギーや暮らしに関わる様々な事業を通じて、地域に暮らす人々の安全・安心を支えます。





2050年の社会を見据え、西部ガスグループが創業100周年を迎える2030年のありたい姿です。

『人を、街を、社会をつなぎ、未来をつくる。』  
西部ガスグループは「つながり」をチカラに  
未来を変える価値の創造に挑み  
持続可能で豊かな社会の実現をリードします。

西部ガスグループは創業以来、エネルギーと暮らしのサービスを通じて、地域の皆さまとつながり、信頼を築いてきました。このつながりと信頼は私たちの財産であり強みです。様々な環境・社会課題が顕在化していく中、想いを共にする個人、企業、行政などが、立場を超えて連携し、共に課題に対処する必要性が高まっています。

私たちは、これまでのつながりを深め、広げ、そして信頼を積み重ねながら、エネルギーとくらしの総合サービス企業グループとして、より良い未来の実現をリードしていきます。



ありたい姿の実現に向けて、以下の戦略を推進していきます。

## 2030年のありたい姿

### 戦略1 地域のカーボンニュートラルの実現に率先して取り組みます

クリーンで効率的なエネルギー利用を軸に低・脱炭素化の取り組みを加速させます。また、お客さま、行政、学術機関等との積極的な連携を図り、地域のカーボンニュートラルの実現に取り組みます。

### 戦略2 サステナブルな暮らしや地域社会を支える価値を共創します

様々なステークホルダーと連携しながら、安心して住み続けられるまちづくりや、多様な暮らしのサービス創出などに取り組み、サステナブルな暮らしや地域社会を支えます。

### 戦略3 未来志向で価値創造の基盤を強化します

未来を変える価値の創造に向けて、人財の育成や新しいつながりの創出に取り組みます。戦略を支える財務基盤の強化とサステナビリティ経営を推進します。

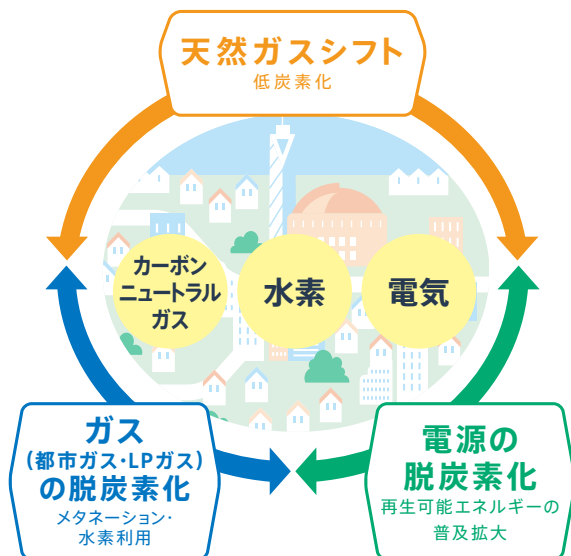
## 戦略1 地域のカーボンニュートラルの実現に率先して取り組みます

### エネルギーの低・脱炭素化の推進

天然ガスシフトなどによる低炭素化を強力に推進します。また、再生可能エネルギーの普及拡大やメタネーション技術等の導入に取り組み脱炭素化に挑戦します。

[カーボンニュートラル2050]

※2021年9月28日発表



### 地域のステークホルダーと連携し カーボンニュートラル化に貢献

行政や学術機関など多様なステークホルダーとの連携のもと、カーボンニュートラルに関する技術開発やサービスの創出に取り組みます。



### レジリエンスの強化による 更なる安全・安心の確保

エネルギー供給のバリューチェーン全体で安定供給体制と災害時の対応力強化を図り、お客さまの更なる安全と安心を支えます。



## 戦略2 サステナブルな暮らしや地域社会を支える価値を共創します

### 安心して住み続けられるまちづくり

地域住民や行政、パートナー企業などと共に、人と人が支えあい、コミュニティに賑わいとつながりのあるまちづくりに取り組みます。



### 多様な暮らしのサービス共創

社会や暮らしの多様なニーズに寄り添ったサービスの拡充、創出に向けて、既存事業の進化やスタートアップ等との共創に取り組みます。



### 活力ある地域経済を支える取り組み

地域密着の企業グループとして、雇用創出や産業振興などに地場企業、経済団体、行政などと共に取り組み、長期的な視点で地域経済の活性化に貢献します。



# 6 ありたい姿に向けた戦略

## 戦略3 未来志向で価値創造の基盤を強化します

### 変革意識と多様性を高める人財戦略の推進

新たな価値創造や挑戦を後押し、変革をリードする人財を育成します。また、多様な人財が働きがいをもって活躍できる環境を整備し、ワーク・エンゲージメント(会社と従業員の心的つながり)を高めます。



### 新しい「つながり」を創出しお客さま価値を最大化

お客さまとの関係を深め、広げることにより、新しい「つながり」を創出します。これを通して、お客さまの豊かな生活を支える製品やサービスを提供していきます。



### サステナビリティ経営の推進

多様なステークホルダーとの対話を大切にし、環境・社会・経済の持続可能性に配慮した経営を推進します。ESG視点での事業リスクと機会のマネジメントを強化するとともに、TCFD(※)に対応する等、適切な情報開示に努めます。



(※)気候関連財務情報開示タスクフォース

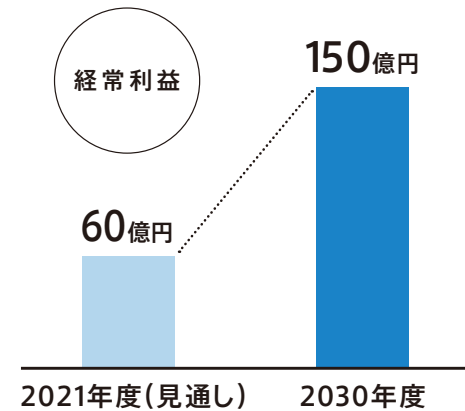
## 経営指標(2030年)

エネルギーとくらしの総合サービス企業グループとして  
未来を変える価値の創造に挑み、以下の経営指標の達成を目指します。

### 財務指標(連結)

売上高 **2,500億円**

経常利益 **150億円**



### カーボンニュートラルの 実現に向けた目標

CO <sub>2</sub> 排出削減貢献量	150万トン
再エネ電源取扱量	20万kW
ガスのカーボンニュートラル化率	5%以上

◎カーボンニュートラルに関する詳しい情報は、「西部ガスグループカーボンニュートラル2050」をご覧ください。





# 西部ガスホールディングス株式会社

---

いつもの朝と、新しい明日を。

**※将来に関する記述などについてのご注意**

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、国内外の経済動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変などがあります。